

令和6年度 仙台市立鶴谷特別支援学校の研究概要 ～令和7年1月末現在～

運営委員氏名 (渡辺 佳子)

研究テーマ	単元計画シートを活用した資質・能力を育む授業作り ～環境作りの工夫を通して～
研究目標	「本研究を通して、本校の授業を資質・能力の三観点で見直し、学習指導要領を活用した根拠のある授業を行えるようにする。また、環境作りの工夫の内容を明確にすることで、個や集団に応じた指導の工夫についての理解を深める。さらに、目標設定、授業実践、評価を通してPDCAサイクルを回し、授業改善へとつながられるようにする。」

研究計画（研究期間3年）

年次／年度	テーマ	内容
1 年次／令和 6 年度(今年度)	各教科の授業を通して	本校の教育課程上行われている、各教科である、国語、算数(数学)、体育、音楽、家庭科の中から学部ごとに授業実践を行う。
2 年次／令和 7 年度	各教科等を合わせた指導を通して	本校の教育課程上行われている各教科等を合わせた指導である、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習の中から学部ごとに授業実践を行う。
3 年次／令和 8 年度	一人一実践を通して	2 年次までに行ってきた授業実践をもとに、単元計画シートを活用して一人一実践を行い、実践した内容を共有する。

・今年度の研究計画

日にち	研究日	実施形態	内容
6/19	研究日①	全体	授業作り研修会(講師:教育センター石川指導主事)
7/22	研究日②	学部	事前検討①:単元計画シートの使い方の確認と実際の計画
8/22	研究日③	学部	事前検討②:環境作りの工夫と指導の流れについて
9/25	研究日④	学部	研究授業と事後検討会 評価規準をもとに、目標を達成できたか評価。有効だった環境作りの工夫について検討する。
10/18	研究日⑤	学部	
11/26	研究日⑥	学部	
12/17	研究日⑦	学部	研究授業の内容とその成果について整理する
1/22	研究日⑧	全体	研究授業の内容とその成果について共有する

研究授業後の検討会での感想、気づいた点等（研究部通信から抜粋）

〔小学部〕

- ・クラス内で少人数で取り組むことで一人一人の課題に気が付き、適切な手立ての下、指導ができるのではないか。少人数での指導は大人数での指導に役に立つ。
- ・実践したことの成果や課題を学年部で言葉にして話したことで、何となく思っていたことが何が原因で成果や課題になっているのかが明確になった。
- ・支援者一人で複数人を見るための方法など、より実践に近い方法で話し合うことができた。
- ・改善ができなかったことがなぜなのか考えると、教師間で共通理解が深まり同じ方向で指導することができる。
- ・共有により他学年部の取組について知ることができた。
- ・「うまくいっている」「うまくいっていない」を整理したことで、手立ての有効性について考え直すことができた。
- ・それぞれの学年部で抽出児を対象に上手くいっている点や課題を確認し、共有できて良かった。

〔中学部〕

- ・特別支援教育における教科の指導を行う上で大切にすべきことは、実態把握である。
- ・この学習を行う集団のレベルがどこなのか、達成可能なのかをしっかりと考えてみる。幅があるからこそこの子はどこをねらうのかを考え、それを共有することが大事。
- ・「生徒のこれからとどう結びつくのか」を考えて組み立て指導することが大切。
- ・生徒に会った目標と手立てを考えることが大切。まずは生徒が見る（興味を引く）ことが大事。
- ・評価規準が明確になることで参観する側は見やすくなり、授業者は評価しやすくなる。
- ・体育・音楽はスキルアップも大切だが、第一に楽しめることが大切。
- ・達成した段階が次の学年に引き継げると良い。
- ・生徒一人一人の能力を教科別に共通理解し、教員がチームワーク良く指導方法を工夫・実践していくこと（T1と他の教員の協力）
- ・生徒の実態把握をしっかりと行った上で、学習指導要領を土台にしつつ、それぞれ個に応じた無理のない目標設定と支援を行う授業についてのイメージや目標などを文字に起こして話し合うことの大切さを再認識した。普段の授業でも他の先生方の意見を募ったり相談したりする時間があると良い。
- ・単元・題材シートを活用することは、授業の目標・評価規準や全体的な計画・評価などを共通理解するのに効果的であったと感じた。
- ・学習指導要領に照らし合わせながら、個に応じた授業作りについて、考えを深めることができた。
- ・日頃、学習指導要領を活用しながら授業を組み立てる機会は正直少なく、今回指導要領を確認しながら目標や評価規準を設定することで、根拠ある指導が可能になった。
- ・単元・題材シートがとても便利で、自分が授業を作るときにも利用してみたいと思った。それくらい手軽で分かりやすいシートだった。また中学部での研究はざっくばらんに話すことができ、話し合いの内容が日々の自分の指導の学びにもなった。

〔高等部〕

- ・単元を1種目に絞って実施することで、生徒の達成感や技能の向上を図りたい。
- ・3年間を見通した計画を見直したい。
- ・指導計画については、生徒の学習意欲を引き出せるよう工夫したい。
- ・個別ルールなど、ゲーム内容の工夫なども行いたい。
- ・特別支援教育では、単元全体を通して最終的に目標を達成できるように、数段階に細かく分けて目標設定を行うことが有効である。
- ・実態の幅が違うので、抽出生徒の選び方に工夫が必要。